

電子機械科「課題研究」での製作物を支援学校と幼稚園に寄贈①

1月23日(木)、本校電子機械科3年生が製作した「そうじ用補助器具」と「ボール投げゲーム機」をみやざき中央支援学校に寄贈しました。「課題研究」の授業の一環として、地域に貢献するものづくりに取り組みました。今年度は、みやざき中央支援学校を訪問し、現場の困りごとや「あったら便利なもの」についてヒアリングを行い、検討を重ねた結果、体が不自由な生徒や車いす利用の生徒でも使いやすい清掃用補助器具と、教育活動を支援するためのボール投げゲーム機を製作しました。製作は約8ヶ月にわたり、アルミニウムの穴あけや曲げ加工などの金属加工技術を活用し、さらに3Dプリンタでパーツを製作しながら完成させました。



電子機械科「課題研究」での製作物を支援学校と幼稚園に寄贈②

また2月14日(金)には、同じく電子機械科3年生の課題研究で製作した玩具「からくり迷路」を、光が丘幼稚園（宮崎市佐土原町）へ寄贈しました。贈呈式の後、高校生が玩具の使い方を実演し、園児たちと交流を行いました。

これらの取り組みを通じて、生徒たちは授業で学んだ知識や技術を実践的に活用して地域社会に貢献する経験や、ものづくりの技術を活かし地域とのつながりを深める貴重な体験を得ることができました。今後も地域と連携しながら、社会に役立つものづくりに挑戦していきます。

